

会 議 録

会議の名称	令和２年度 第２回 栃木中央地域会議
開催日時	令和２年７月２７日（月）１８時３０分開会～２０時３０分閉会
開催場所	市役所本庁舎 ３階 正庁
出席者及び欠席者氏名	別記１のとおり
事務局職員職氏名	別記１のとおり
その他出席者等	別記１のとおり
会議事項	別記２のとおり
会議の公開又は非公開の別	公開
傍聴人の数	０人
その他必要事項	なし
会議の経過（議事の要旨）	別記３のとおり

別記1 出席者及び事務局

○出席者（委員）

委員 石河 不砂	委員 大栗 利夫
委員 大塚 昌峰	委員 岡田 真由美
委員 片柳 よし子	委員 佐山 正樹
委員 杉戸 洋	委員 関口 利枝
委員 高橋 正行	委員 玉田 浩
委員 野口 邦子	委員 林 美佐子
委員 藤沼 トヨ	委員 古澤 利夫
委員 村田 弘子	

以上 15名

○欠席者（委員）

委員 木村 隆夫	委員 坂本 智哉
委員 松本 真由美	

以上 3名

○事務局

【総合政策部】

横倉 延男（地域づくり推進課長兼栃木中央地域まちづくりセンター所長）
熊谷 充晴（地域づくり推進課副主幹）
関口 智（地域づくり推進課主査）

○その他出席者

なし

別記2 会議事項（議題及び会議結果）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

- ・地域会議推薦として参加した会議の報告

4 連絡事項（情報提供）

- ・避難所の見直しについて【総務部危機管理課】

5 議 事

（1） 地域予算提案事業の検討について

- ・令和3年度地域予算提案事業の選定

（2） その他

6 連絡事項

次回の開催予定について

令和2年8月20日（木） 18時30分～

キョクトウ蔵の街楽習館（市民交流センター）

7 閉 会

別記3 会議の経過（議事の要旨）

発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
佐山会長	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ こんばんは、この頃水害またはコロナが非常に増加してしまして不安な日々を過ごしています。今後どうなっていくのか心配ではありますが、限られた時間の中で皆さんと有意義な会議にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>3 報告事項 ・地域会議推薦として参加した会議の報告 特になし</p>

	<p>4 連絡事項（情報提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所の見直しについて【総務部危機管理課】 担当課が資料を基に優先順位について説明。
危機管理課	
事務局	ご意見等ございましたら、挙手してご発言ください。
委員	洪水になった時の避難所開設ですが小学校などの避難所に移動する際、河川の中を避難することについては配慮していただけたのでしょうか。また、昨年の水害で越水した場所の確認をしていただきたいです。
危機管理課	浸水推定区域内の避難所ということで、2階以上の建物に避難するという形にさせていただきましたが、浸水推定区域のなかにある車の安全を確保することは現段階では難しいことでもあります。
委員	実際に車での移動が主な手段だと思います。一気に近くの避難所に避難するとパニックに陥ると思いますが、駐車スペースへの配慮は必要ないのでしょうか。
危機管理課	避難所に地域指定はありません。また、定員で入れないことはないのですが、近くの避難所に早期避難していただけますようお願いいたします。
委員	避難所へ安全に行く為の広報が無く、周知を徹底していただかなければ避難ができません。防災ラジオであれば必ず情報が入ると思いますので、防災ラジオを使用した広報手段はないのでしょうか。
危機管理課	防災ラジオでの情報提供については、庁内で検討させていただきます。
委員	地域を限定しないとありましたが、地区が違う避難所に避難した方が非難を受けた事例がありますので、垣根を超えた啓発活動も頭に入れて置いてください。
委員	昨年の水害でなにかしら不適切な所があったかと思います。例えばですが、避難所として成り立たない場所と変更できる場所を提示するなど具体化してください。
危機管理課	皆様のご意見を持ち帰り、検討させていただきます。この場ですべてお答えできませんこととお詫び申し上げます。ありがとうございました。
事務局	他にご意見等ございましたら、危機管理課に直接お問い合わせください。担当課のほうからお答えします。

	<p>5 議 事</p> <p>(1) <u>地域予算提案事業の検討について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度地域予算提案事業の選定
佐山会長	事務局より説明をお願いします。
事務局	【地域予算提案事業の検討について事務局が説明】
佐山会長	ただいまの説明に関して質問等ありましたらご発言ください。
委員	県庁堀のこいのぼり事業ですが、栃木の実働組織の中で事業をするということですか。
事務局	地域予算の本来の姿として実働組織が中心となり、その輪を活かした活動していければと考えております。地域の両輪ということで地域自治に繋がっていきますので、そういった形もぜひご検討ください。
委員	県庁堀でこいのぼりを泳がせるには川が狭いうえに鳥が降りられないことも考えられるため、現在の自然体の県庁堀が良いと思います。
委員	災害ガイドブック事業ですが、昨年襲った台風の状況を事細かに示していただきたいです。
佐山会長	土地の値段や売買なども絡んでくるため難しい問題があると思いますが、踏み込んでいかなければなりません。チラシ等の作成についても事細かな情報を載せなくては現実的な災害対策にはならないでしょう。また、こいのぼり事業も素晴らしいですが、県庁堀には馴染まないと思いますし、自然体な県庁堀の姿の方が魅力的だと思います。県庁堀がなぜ造られたのかももう一度しっかり考えるべきかと思います。
委員	栃木市外の方からの意見ですが、こいのぼりの数がしつこいと指摘がありました。また、写真の記録・記憶事業の記載がありませんが、なぜでしょうか。
事務局	そちらに関しては単独の事業ではなく、ガイドブック事業の一部に災害の記録写真を載せられるといった考えです。
委員	災害記憶事業の中に誘導標等と記載されていますが、どういった意味でしょうか。避難所への誘導案内をする看板という認識でよろしいのでしょうか。

事務局	設置する場所が難しく実際に栃木地域で目立たないということで、前回の会議の際に見送るということで同意いただいたかと思います。我々としては水深等を表す指標だと認識しております。
委員	ガイドブックを有効に活かすために自治会等と連携し、ただ作成するだけでなく周知するためにどう工夫するかが大事だと思います。
事務局	地域予算に関してはあくまでも市の事業ということでガイドブックを作成する、配布するまでが市の役割になります。そこから先どういった活用をしていくか実働組織でご検討いただくとより良い事業になるかと思います。現状、配布するまでを考えております。
委員	こいのぼりと併せて周辺に案内板があれば魅力発信に繋がると思います。また、中央地域会議からガイドブックの内容にタッチできないのでしょうか。
事務局	基本的には所管課に一任していただきたいと思いますが、来年度は皆さんから新しい地域会議委員に替わってしまうことも踏まえてまして、ご意見等ありましたら所管課にお伝えさせていただきます。場合によって金額が変わることもありますので、今後検討すべきかと思います。スケジュールとしては9月いっぱい形にしないと間に合わない状況です。8月・9月の地域会議である程度事業が固まれば、より深いところまで詰められるかと思います。
委員	パンフレット作成ですが、目に留まりやすいものでないと見向きもしません。作成したものを配布する前に確認させていただかなければ、行政に全てを任せるとなると不安です。
事務局	市の事業ということもあり、地域会議からの意見を全て吸い上げて事細かに作成するのはなかなか難しいですが、ある程度提案することは可能かと思うので、実働組織と共に今後も進めていただければと思います。
委員	紙ベースではなく、QRコード等を使用して音声や動画でわかるような仕掛けはできないでしょうか。また、こいのぼりは南側に設置するということですか。
事務局	実際には南側の橋に擬木が付き、手すりが設置される予定です。そちらに設置出来ればと考えております。QRコードについてですが、動画というのは既存の動画を市のホームページ等に載せるということでしょうか。
委員	既存の動画ではなく、栃木市民がスマートフォンなどで撮影した動画や写真等を集め、栃木市で実際に起きたことを載せていただきたいです。

佐山会長	災害に関する様々な資料を栃木市民から集約してまとめる作業をするとなると限界があると思いますので、業者に任せて作成し市民が借りられるようにする若しくは映写会を開くのも良いと思います。こいのぼり事業ですが、こいのぼりの時期に川の鯉が隠れてしまうため掲示方法も考慮すべきかと思います。市の風物詩であることは間違いありませんが、自然にかなっているのか今後の検討課題ですね。
委員	災害と大きく一纏めにしてありますが、地震は含まれていないのでしょうか。
事務局	現状、危機管理課では風水害・地震等を含めたものを想定し、作成したいと考えております。
委員	地域づくり推進課は事業に対してどういった形で携わるのですか。
事務局	基本的には所管課の業務として動いていただく形となるため、来年度は我々の手から離れていくこととなります。
佐山会長	あくまでも担当部署に要望を伝えられるくらいに検討しておいた方が良いでしょう。指針になるべく二つとないものを作成すべきかと思います。
委員	業者に頼むのも良いですが、地域力を総合的に活かすならばある程度地域と絡めていった方が良いでしょう。例えばケーブルテレビ等のメディア関係に働きかければ情報を多くの市民に周知できると思うので、そういった防災意識が高まるようなアイデアがほしいです。
佐山会長	子供から高齢者まで行動をあらかじめわかっている状態にまで詰めないと水害対策になりません。市全体として動かさなければならぬでしょう。
事務局	ケーブルテレビに関しては市で枠を持っていますので、ある程度対応できるかとは思いますが、現時点では難しいです。
佐山会長	緊急放送の連絡時に市民の災害体験を 200 字程度の文章にして読み上げるくらいならば可能ではないでしょうか。
事務局	実際に台風等が近づいているときの緊急放送ということですか。
佐山会長	緊急放送ではなく、普段から流れているものです。
事務局	ラジオから定期的に流れるものになりますと、地域予算である必要性はないか

	<p>と思います。地域予算と絡めたご提案をお願いします。</p>
委員	<p>県庁堀のこいのぼりは賑やかで良いと思いますが、古いのぼりはみすぼらしい気がします。新しいのぼりを付けるなど工夫すべきかと思います。</p>
委員	<p>自治会長さんが当時の状況を克明に書き記したり、或いは覚えていたりしていると思います。具体的にどこの川がどのように氾濫して水が流れていったのかといった正確な情報を載せることが大切です。文字だけでなく映像を使用して周知すると良いと思います。市のホームページ等にリンク先に飛べるようにして、避難先がわかるような状態にしておくのも手だと思います。また、県庁堀に関して子ども達が県庁堀で賑わっていることがないので、県庁堀に関心を寄せるきっかけになるかとは思っています。</p>
委員	<p>県庁堀事業ですが、ひと昔前の自然な風景を思い出すように環境整備をすべきかと思います。</p>
委員	<p>ガイドブックは全市民が現状を把握できる状態にしていきたいです。また県庁堀事業では、歴史的なところから発信できるとより栃木市らしくなるのではないのでしょうか。</p>
佐山会長	<p>実際にあった事例を写真として載せたり、自治会での事例を載せたりするなど次のアクションを起こしやすいものにすべきかと思います。危機管理課がどこまで応えてくださるのか分かりませんが、皆が製作して良かったと思えるものを創っていただきたいです。</p>
委員	<p>ガイドブックですが、本日以降は携われないのでしょうか。せっかく中央地域で積み上げたものなので、中央地域からの意見を反映させていただきたいです。危機管理課で作成したものに我々の意見を反映できませんか。</p>
事務局	<p>まとめさせていただきます。まずは確認ですが、ガイドブックについて紙ベースではなく、動画と解釈してよろしいでしょうか。というのも予算以前の問題でして、今のところビジョンが全く見えてきません。当然、地域の特性を活かした本・動画、ケーブルテレビの活用などの確認はできます。</p>
委員	<p>動画というよりも紙ベースのガイドブック等にQRコードをつくり、インストールすれば動画で確認できるリンク先を張り付けるという意味です。</p>
事務局	<p>そうすると1年で事業が終わってしまいますが、よろしいでしょうか。</p>

委員	1年だけでは意味がありません。今年だけでなくいつでも確認できるようにしたいのですができないでしょうか。
事務局	<p>そうしましたら案として危機管理課の方に報告させていただきます。まず、担当課ですが地域づくり推進課は担当課にはなりません。担当課の方に皆さんのご意見を提出し、合意になったものが地域予算となります。中には担当課の方で馴染まないということで降りることもあるかと思しますのでご了承ください。また、役所のルールに基づいて作成し調整すると思いますが、皆さんのご意見を反映せずに作成しようとは考えておりません。</p> <p>次に県庁堀事業ですが、噴水を分離して具体的に進めていきたいと思えます。このぼりも楽習館と美術館の間も分離致します。1151匹だけ流すのか、全体でやるのか、或いは間無しで通せるのか等の提案はいただこうと思えますが、もう一度皆さんで検討してください。</p> <p>ガイドブックに関しましては、昨年の災害を来年度までに市役所が持っているものでデータ化するのは難しいです。業者を選定する際に入札等をかけなければなりません。そうなった場合時間が限られ、400万円の事業ができない可能性があることをご承知おきください。担当課に交渉しますが、必ずしも明るい結果とはならないことをご了承ください。</p>
佐山会長	こちらの400万は来年度の予算ということですよ。
事務局	こちらは来年度の予算になりますので、見積もりという形で9月までに金額を確定しなければなりません。
委員	ガイドブックに実際に起きた被害状況の経過を示していただきたいです。
事務局	先ほどもお話ししましたが、皆さんのご希望を業者に発注した際に必ずデータを持っているという確証はありません。必ずしもできるだろうということではなく、市役所の予算執行のルールに基づいた提案でなければ予算計上できません。イメージとしては、昨年情報を入れたいということで業者に問い合わせ致します。
委員	A4版くらいの看板を県庁堀に置くことは可能ですか。
事務局	実際問題、看板は完全に固定したものでなければ災害が起きた時、被害にあうことも想定されますし、県庁堀周辺に設置することは難しいです。また、時期的に文化芸術館の完成前に建てるのは非常に困難かと思えます。
佐山会長	今回の会議にて我々ができることできないこと、行政ができることできないこ

	<p>とが見えてきたかと思います。大きな問題を背負ったと思いますが、ここからの進行は事務局へお返しします。</p> <p>(2) その他 特になし</p> <p>6 連絡事項 次回の開催予定について 令和2年8月20日(木) 18:30分～ キョクトウ蔵の街楽習館(市民交流センター)</p> <p>7 閉会</p>